

＊ ＊ 2018年 本屋大賞まもなく発表 ＊ ＊

今年の＜本屋大賞＞の結果発表は4月10日（火）です。果たしてどの作品が選ばれるのでしょうか。

【2018年 本屋大賞ノミネート作品】

- 『AX』 伊坂 幸太郎/著 KADOKAWA（Fイ）
- 『キラキラ共和国』 小川 糸/著 幻冬舎（Fオ）
- 『かがみの孤城』 辻村 深月/著 ポプラ社（Fツ）
- 『崩れる脳を抱きしめて』 知念 実希人/著 実業之日本社（Fチ）
- 『屍人荘の殺人』 今村 昌弘/著 東京創元社（Fイ）
- 『騙し絵の牙』 塩田 武士/著 KADOKAWA（Fシ）
- 『たゆたえども沈まず』 原田 マノ/著 幻冬舎（Fハ）
- 『盤上の向日葵』 柚月 裕子/著 中央公論新社（Fユ）
- 『百貨の魔法』 村山 早紀/著 ポプラ社（Fム）
- 『星の子』 今村 夏子/著 朝日新聞出版（Fイ）

休館日

4月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

5月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

■ は本館の休館日です

※4月の月末休館日はありません。

4月のギャラリーはありません。

編集後記

この季節は、さまざまな種類の桜が各地で咲いているので、見に行きたくてそわそわしています。しかし、桜の時期は年度末・年度始めという業務の多い時期と重なるため、なかなか時間がとれず、ここ数年は諦めていました。というわけで、来年こそはきちんと仕事をこなし、心置きなく桜の名所を訪ねる、というのが私の小さな夢です。（か）

けやきどおり通信（No.295）

編集・発行 碧南市民図書館

〒447-0057
碧南市鶴見町1-70-1
TEL：(0566) 41-0894



けやきどおり通信



2018年4月 ～NO. 295～



4月になりました。

この季節は、新しい環境に身を置く方も多いことでしょう。また、環境は変わらないけれど、気持ち新たに何かに挑戦したいと考えている方もいらっしゃるかもしれません。期待と不安の入りまじったこの季節に、みなさんへのエールという意味も込めて、今回の特集は「夢を叶える。」としました。

まだ記憶にも新しい平昌冬季五輪で活躍した選手たちも、平坦な道のりを歩んできたわけではなく、多くの苦難を乗り越えて夢を叶えたことでしょう。

みなさんも、これから壁にぶつかることがあるかと思います。そんな時は、夢を叶えた人々の本を読んでみてください。きっと夢を叶えるヒントが見つかるはずです。

『夢の叶え方を知っていますか?』
森 博嗣/著 朝日新聞出版
(914モ)

国立大学で助教授をしていた著者は、幼い頃から「自分の庭に小さな鉄道を建設する」という夢を持っていた。その夢を実現させるための資金集めにと、アルバイト感覚で書き始めた小説が大ヒット。億単位の収入を得て夢を叶えた著者が、夢とは何かという考察から、夢を実現するためのアドバイスと方法論を展開。

『明治の男子は、星の数ほど夢を見た。』和多利 月子/編著 産学社 (289.1メ)

明治23年に紀州沖でオスマン帝国の軍艦が遭難した際、義捐金の募集活動を行った青年・山田寅次郎は、集めた義捐金を直接手渡すため、当時国交のなかったトルコに渡った。到着後、国の絶対権力者であるスルタン（皇帝）に謁見して気に入られた彼は、トルコに長期滞在しながら日本文化を紹介するなど、日本とトルコの友好の礎を築いた。帰国後は事業家として大成し、茶道家元としての活動にも尽力するなど、あくなき好奇心で多くの夢を見続けた一生を実孫が紐解く。



『蒼のファンファーレ』古内 一絵/著 小学館 (F7)

地方競馬場の中でも“藻屑の漂流先”と揶揄される廃業寸前の厩舎に所属する女性騎手・芦原瑞穂は、外野や身内からの女性蔑視にも負けず、前向きにレースに臨んでいた。ある日、この厩舎には場違いな超良血馬がやってきたことがきっかけで、瑞穂たちはGIレースでの優勝を目指すことに。心に傷を負い、行き場をなくした仲間と奇怪な風貌をした馬とともに大きな夢を叶える事はできるのか…。

『夢をまことに』山本 兼一/著 文藝春秋 (Fヤ)

江戸時代後期、近江の鉄砲鍛冶である国友一貫斎は「世の中の人が必要としているものをつくるのが鍛冶の仕事」という信念のもと、鉄砲に限らず、望遠鏡などさまざまな道具を発明した。失敗しても成功を信じて努力を続け、「夢をまことに」しようと、ものづくりに命を賭けた男の奮闘記。

『はじまりは一軒のレストラン』村田 邦彦/著 毎日新聞出版 (673ハ)

『夢をつかむ法則』向山 恵理子/著 角川学芸出版角川出版企画センター (762ユ)

『ぐーたら女の成功術』中園 ミホ/著
文藝春秋 (912グ)

大ヒットドラマを連発した脚本家・中園ミホはぐーたらなダメ人間だった—!? 大学卒業後、OLになるも使いものにならず、退職後は占い師になったり、競馬をしたりと根っからの遊び好きで怠け者。しかし、失恋をきっかけに進んだ脚本家という道で、世に揉まれながら必死に仕事を続けた結果、「働くことは生きること」と悟るまでを綴る。



『夢はみるものではなく、かなえるもの』澤 穂希/著
PHP 研究所 (783.4ユ) 暮らし

サッカー選手にとって最高の栄誉と言われる賞「バロンドール」を日本人で初めて受賞した澤穂希選手が、数々の困難を乗り越えて栄光をつかむまでの日々と、引退後の新たな夢を語る。

『巨大な夢をかなえる方法 世界を変えた12人の卒業式スピーチ』
ジェフ ベゾス ほか/著 佐藤 智恵/訳 文藝春秋 (159キ)

ネット通販大手・アマゾン創業者のジェフ・ベゾスや、著書『リーン・イン』がベストセラーになったシェリル・サンドバーグに、俳優のトム・ハンクスなど、あらゆる分野で世界的に活躍する12人の著名人が、一流大学の卒業生に、人生をどう生きるか、いかに成功するかについて熱く語った一世一代のスピーチを完全収録。

『ウイスキー一筋に生きてきた男、竹鶴政孝。』マガジンハウス (588.5ウ)

「一人でも多くの日本人に本物のウイスキーを飲んでもらいたい」
熱い思いを胸に、ウイスキー作りに人生を賭けた男・竹鶴政孝。
「ウイスキーの仕事は私にとって恋人のようなものである」と
苦労をいとわず、夢を実現させた政孝の足跡を多数の写真で紹介。
政孝の夢が詰まった余市、宮城峡の蒸留所レポートなども収録。



『好奇心を“天職”に変える空想教室』植松 努/著 サンクチュアリ出版 (159コ)

小さな町工場にできるはずがないと言われながらも、ロケットの打ち上げに成功し、宇宙開発の常識を覆した“日本一の空想経営者”が、夢をあきらめたくない人々に向けて、どんな夢でも実現できる方法を語る。

「より高みを目指したい！」
そんなあなたに送るミニ特集

《○○力 UP!》

『「型破り」の発想力』
齋藤 孝/著 祥伝社 (141カ)

AI（人工知能）が急激に進化していく時代の中で、人間に求められる能力は、新しいアイデアを発想し、新しいものを創り出すことであるとする著者が、葛飾北斎や世阿弥など誰もが知る歴史上の人物を取り上げて、日本人ならではの発想力・創造力を身につけるための秘訣を紹介する。

『「ハカる」力』三谷 宏治/著 ティスカヴァー・トゥエンティワン (336.2ハ)

『意思決定力』本田 直之/著 ダイヤモンド社 (159イ)